

平成 26 年 7 月 16 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹  
(コード番号 : 8303 東証第一部)

## 栃木県那須塩原市におけるメガソーラー事業向けプロジェクトファイナンスの組成について ～地域金融機関との協調による地産地消型プロジェクトファイナンスへの取り組みを強化～

当行は、株式会社レノバ(東京都千代田区、代表取締役社長 木南陽介、以下「レノバ」)などが出資する合同会社が栃木県那須塩原市に建設する、発電容量合計約 24.8 メガワットの大規模太陽光発電所(メガソーラー)に対するプロジェクトファイナンスを組成し、係る融資関連契約を平成 26 年 5 月 28 日に締結いたしました。このプロジェクトファイナンスは、当行がシンジケートローンとしてアレンジし、当行、株式会社足利銀行(栃木県宇都宮市、代表執行役頭取 松下正直)、および株式会社常陽銀行(茨城県水戸市、取締役頭取 寺門一義)が参加、建設にかかる費用のうち総額約 75 億円を融資するものです。

本事業は、レノバが事業計画策定の段階から開発プロセス全般を主導し、他の 1 社と共同で発電事業者となる合同会社を設立、栃木県那須塩原市内の民有林約 37 ヘクタールを活用して、平成 27 年 9 月の運転開始を目指します。

レノバは再生可能エネルギー事業の開発やプラスチックリサイクル事業を展開し、メガソーラー事業でも、これまでに茨城県潮来市、千葉県富津市、静岡県菊川市など 4 カ所で発電所を着工もしくは運転開始しており、当行と組成するプロジェクトファイナンスは本事業が 3 件目となります。本事業においては、当行は、メガソーラー事業におけるプロジェクトファイナンスの実績を活かし、アレンジャー(主幹事)兼エージェント(貸付事務代理人)としてシンジケートローンを組成いたしました。

当行では、第二次中期経営計画における法人向け業務戦略の一環として、再生可能エネルギー事業を重点分野の一つと定め、平成 24 年度より、同事業に対するプロジェクトファイナンスおよびそのアレンジ業務への取り組みを進め、これまでに多数の案件に対するファイナンスを組成しています。再生可能エネルギー事業は、エネルギーの地産地消の推進にもつながることから、今後とも、地域金融機関との連携を強化し、地域活性化につながるプロジェクトを後押ししてまいります。また、事業性を評価したキャッシュフローベースのファイナンスの提供により、再生可能エネルギーなど、新たな事業分野に参入する成長企業に対するサポートを強化してまいります。

### 【プロジェクトの概要】

事業名称： 栃木県那須塩原市メガソーラー事業  
発電容量： 約 24.8 メガワット  
想定年間発電量： 約 2,610 万キロワット時(一般家庭約 7,000 世帯の年間使用電力に相当)  
事業主体： 合同会社那須塩原ソーラー  
スポンサー： 株式会社レノバほか 1 社  
商業運転開始： 平成 27 年 9 月予定

※本格稼働後、発電する電力は、平成 24 年 7 月に施行された「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく電力供給契約により、20 年間にわたって全量を固定価格にて東京電力株式会社に売電。

### 【株式会社レノバの概要】

名称： 株式会社レノバ  
代表者： 代表取締役社長 木南 陽介  
本社所在地： 東京都千代田区大手町 1-7-2 東京サンケイビル 18F  
資本金： 11 億 9 千万円(平成 26 年 5 月 30 日現在)

### 【シンジケートローンの概要】

貸入人： 合同会社那須塩原メガソーラー  
契約金額： 総額 約 75 億円  
契約締結日： 平成 26 年 5 月 28 日  
アレンジャー(主幹事)兼  
エージェント(貸付代理人)： 株式会社新生銀行  
参加銀行： 株式会社足利銀行、株式会社常陽銀行

以 上